



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.50

2019年1月

ネット通信 花便り

謹んで新年のお祝いを申し上げます



2018年国土交通大臣表彰祝賀忘年会（鮎金にて）

目次

新年挨拶	P2
「花の仲間たち」花と緑のまちづくり賞 受賞	P3
創立30周年記念の花飾りに参加して	P4
福岡県立 古賀特別支援学校高等部のハンギング作りに参加	P4
福岡市立 博多高等学園で福祉園芸体験事業	P5
11月市役所玄関前の花壇の植え替え	P5
福岡県立 福岡高等聴覚特別支援学校花育報告	P6
クラフト部「レモンガラスのしめ縄づくり」	P6
アイランドシティー中央公園 園芸福祉の庭	P7~P10
事務局からのお知らせ	P11



謹んで新春のお慶びを申し上げます。 谷口 博隆

旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新しい年の初めに際し、これからの活動の糧とするため、2018年会員の皆様と取り組みました主な活動を思い出してみたいと思います。

1月福岡市役所玄関前花壇の管理について、一般社団法人福岡市造園建設業協会と10年間の継続事業として協定書を締結。夏の猛暑や雨降りにも負けず延135名の会員がきれいで素敵な花壇の維持管理に関わりました。

4月27日顧問の吉田博美氏が平成30年緑化推進運動功労者として、福岡県では個人として初めての内閣総理大臣表彰を受賞されましたので、7月1日ロイヤルホテル宗像での祝賀会に出席し、お祝いとして白の胡蝶蘭の鉢植えを贈りました。



5月海の中道海浜公園で癒しの苔玉教室をの苔玉教室を4日と5日の二日間実施し、126個の苔玉づくりをお楽しみいただきました。13日「Play Forest 2018 in 舞鶴公園（九州電力主催）」に、種でお絵描きと多肉植物の寄せ植えを出展し、外国から来ているオイスカの研修生に多肉植物の寄せ植え体験をしていただきました。また通常総会、実践事例発表会を20日天神のアクロス福岡で開催しました。26日滋賀県で皇太子同妃両殿下ご臨席のもと開催された第29回全国「みどりの愛護」のつどいに出席。緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に対し、その功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進運動としての緑化推進活動の模範として、第29回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

6月9日に開催された日本園芸福祉普及協会の総会と翌10日の第17回園芸福祉普及協会の総会と第17回園芸福祉シンポジウム in おかやまに出席しました。

福岡県精神保健福祉センターから園芸療法の依頼があり7日から15日までの木・金計4回デイケアで利用者対象の既存観葉植物の植え替え体験を実施し、福大医学部の学生も参加されました。

10月3日一人一花サミット グリッピーキャンペーン2018の多肉の寄せ植えで使用する65個の竹の器づくりをしました。海の中道海浜公園 癒しのこけ玉教室を7・8の二日間実施し83個の作品作りを楽しんでいただきました。13・14日に福岡市植物園で開催された一人一花サミットグリッピーキャンペーン2018にステージイベント「ハンギングバスケットづくり体験」ブースでは「竹の器に多肉の寄せ植え」「緑の恵み園芸福祉ショップ」を出展、多くのお客様に体験やお買い物をお楽しみいただきました。これらの他にも次の事業を実施しました。特別支援学校3校で「福祉園芸体験事業」、「職業技能指導者派遣事業」を博多高等学園で。幼稚園や学校などで花育活動、広報誌「花便り」を3・7・10月の3回発行。毎月園芸福祉の庭の維持管理作業、そして先日はレイズドベッドや子ども達と一緒に楽しむ花壇などの園芸福祉テーマ花壇を春に向けて、担当した会員がデザインしたとおりに花苗や球根を植え付けて素敵な花壇が完成しました。これはスキルアップにとっても良いので、多くの会員の自分磨きの場として活用して戴きたいと思います。最後に今年は北野多美子さん、米倉治美さん、諫山みどりさん、田中節子さん4名がめでたく「園芸福祉士」に認定されました。2019年は一層社会に貢献できるように会員が一つになって園芸福祉の活動を展開していきたいと思います。

九州がんセンター 癒しの庭づくり 「花と緑のまちづくり賞」受賞

「花の仲間たち」代表 山崎 博子

第16回「花と緑のまちづくり賞」を10月12日いただきました。この賞は、花と緑によるうらおいのある美しいまちづくりを推進するため、花と緑のまちづくり活動に顕著な功績のあった団体を「福岡市緑のまちづくり協会」が表彰するものです。（主催者資料より）今年の対象団体は106団体だったそうです。予備審査の6団体に選ばれ事務局から聞き取り調査に見えました。



真夏の暑い定例作業の日でしたが会員の熱い思いを語りました。しばらく連絡がなかったのがダメだったのかなと皆心ひそかに思っていたようです。賞に選ばれましたという内定の連絡を受けた時は、今までの活動が認められとてもうれしかったです。

賞の評価が、私たちの心に寄り添ったもので「これからも頑張ろう」と会員一同、何よりも励まされました。

つたない言葉で紹介するよりも「評価された点」をここに原文のまま紹介させていただきます。

年中花の絶えない、元気をもらえる癒しの花壇

規模の大きな花壇には多品種が植栽され、年間を通して花が絶えないように工夫して管理されており、メンバーの技術力の平均値が高いことが花壇に現れています。

花壇はブロックごとの担当制で管理されているにも関わらず、患者さん、お見舞いに来た人、病院関係者など、みんなを癒したいという目的が会員に共有されていることから、統一感が保たれています。造園工事等の図面でデザインされた花壇と対極にある、市民ボランティアならではのデザインの花壇が、がんセンターという場所で多くのかたの「癒し」となっている点が評価されました。

今年で16年目に入りましたが、「福岡市緑のまちづくり協会」の援助や当病院の院長や看護師長をはじめ担当者の惜しみない協力があったこと。また、園芸福祉の考え方を教えてくれた「園芸福祉ふくおかネット」。初級園芸福祉士養成講座を病院で開催させて頂き5つのテーマ花壇を作り上げることができたことなどが今度の受賞につながったのではないかと秘かに思っています。今、賞の重みと責任を感じています。



◆今年特別支援学校で行なったハンギングバスケットづくり体験事業は、農林水産省国産花きイノベーション推進事業の福祉園芸体験として、花あふれるふくおか推進協議会の依頼により行っています。

創立30周年記念の花飾りに参加して 米倉 治美



10月17日(水)福岡県立 福岡高等聴覚特別支援学校創立30周年記念の校庭入口を飾るハンギングバスケット作り福祉園芸体験の講師として参加させていただきました。

ハンギングバスケット作りは指導講師の黒瀬さんが生徒さんたちに「前に来てくださ〜い」と声をかけ、一つ一つ丁寧に説明をされていて、生徒の皆さんは花の植え方がわかりやすかった様子。席に戻ってハンギングバスケットに花苗を植えるとき、生徒さんの側についていた講師たちが見守るなかで、指定された場所にきちんと植えていました。

その後、谷口 代表と黒瀬 副代表が管理状況の確認に伺うとハンギングバスケット下部の花は水枯れし、花壇の花はしおれた状態でした。花の回復を図るため大きな容器に水を溜めて、ハンギングバスケットごと浸して水上げを行い、明るい日陰で様子を観ることにしました。翌日「見事にハンギングバスケットの花たちは元気に生き返りました。」と教頭先生から嬉しい電話を戴きました。

福岡県立 古賀特別支援学校高等部のハンギング作りに参加 井上 妙子

福岡県立 古賀特別支援学校高等部はJR千早駅から徒歩10分位の所にあり、午前8時集合に間に合う様に行きました。事前に講師がある程度作り込み、上部に4ポットと水苔での仕上げ



で完成です。講師達は容器のスポンジ貼りと植え込む花の材料を黄色系とピンク系をカゴに植え込む順番に置き並べる作業をしました。指導講師の黒瀬さんが「ハ〜イ、こちらまで見に来てください」のかけ声で一斉に集まり黒瀬さんの説明を一作業毎に手元を熱心に見入り、全員がとても上手に出来上がりました。最後の水やりでは「容器の下から水が出る迄何回も水やり」と説明。水抜き穴を覗いたり、手で触れたりして確認できるとワイワイと楽しそうに水やりをして無事ハンギング作りは終わりました。花苗生産者の安武園芸さんが参加されてとても感激されていました。講師の一員として楽しく参加出来たことに感謝、有難う御座いました。

の安武園芸さんが参加されてとても感激されていました。講師の一員として楽しく参加出来たことに感謝、有難う御座いました。



福岡市立 博多高等学園で福祉園芸体験事業 黒瀬 恵子

11月27日(火)、福岡市立 博多高等学園で福祉園芸体験事業のハンギングバスケットづくりを



講師5名で指導させていただきました。昨年は黄色系のビオラだけのハンギングバスケットでしたが、今年は黄色系とピンク系の2パターンを準備し、スイートアリッサムの白をフォーカルポイントにしました。一人分ずつ12ポットの苗をテーブルに置き、生徒さんにビオラの色バランスを考えながら、植える順番通りに苗ケースの中に並べてもらいました。3種類のビオラを全体に散らしたり、意図的に集中させたり、生徒さんの思いが表現されます。フォーカルポイントにしたスイートアリッサムを「スイートアリッサムお嬢様」と呼ぶ

ほど気に入り、周りを和やかな雰囲気にしてくれた生徒さんも、最後まで丁寧に仕上げてくださいました。ハンギングバスケットづくりは今回が初めての生徒さん達でしたが、時間内にきれいな作品をつ



つくる事が出来ました。ハンギングバスケットの水やりをマスターして

いただくため、実際に水やりを行ない、容器内に水が行き渡った状態を確認していただきました。花がら摘みも、つぼみと咲き終わった花の違いを確認していただき、摘み方も体験していただきました。今回のハンギングバ

スケットづくりを通して、花との関わりが増え、より心豊かな大人へと成長されることを願っています。



11月市役所玄関前の花壇の植え替え 二俣 はるみ

今年最後の市役所玄関前花壇の植え替えに園芸福祉ふくおかネットからは3名が参加しました。40名ほどの人たちの作業で、思いのほか早く終わることが出来ましたが、山崎さん、嶋添さん、二俣



俣の3名はつい、いつもの管理作業モードに入ってしまった、手を休める事が出来ずに苦笑いをしてしまいました。暖かい気候のおかげで、マリーゴールドなどはいつまでも元気で抜いてしまうのが、少しかわいそうに思えましたが、ビオラ、ストックなどで春の華やぎの花壇に替わりました。

今回の植物は宿根草も多く、ブルーデージー ユリオプスデージー、ガザニア、アザレア、葉物はアメリカイワナンテン、シダレハナビ、セキショウなど色や形に特徴のあるものが入っています。新しく加わった植物

たちが元気に育って変化していく花壇を楽しみたいと思います。

福岡県立 福岡高等聴覚特別支援学校花育報告 米倉治美

福岡県立 福岡高等聴覚特別支援学校創立30周年記念事業で、10月17日(水)校庭入口花壇作り・花育活動の講師スタッフとして参加、先生や生徒さんたちと協働で土づくりや花苗植え込み等の作業をしました。私たちが花の植え方のアドバイスをさせていただき、生徒さんたちから手話を教えてもらい、覚えてたの手話で会話したりして場が和み、とても充実した楽しい体験講座でした。「障がいがある」とか、「ない」とかは重要ではなく、相手と会話をしたいと思い、障がいを理解したいと思う事が大切なのだと感じた講座でした。



植込み後、アクシデント!

数日後、花壇の花の状態が良くないと学校から連絡があり、急遽花壇の枯れていた花を撤去し3ケース余りを補植しました。しかし、再び花壇の花の状態が良くないということで12月11日(火)雨が降る中、谷口 代表、黒瀬 副代表、井上さん、二俣さん、米倉の5名で花苗(7ケース)を補植しました。花壇に真砂土を混ぜて各色のビオラを植え、泥で汚れた花たちを綺麗に水で洗い流し、数時間かけ補植作業を終えました。「雨の中でも頑張る谷口組?!」。体は芯から冷えましたが、生徒たちや学校関係者に喜んでもらった達成感で心が温かくなり、帰路に着きました。帰宅後速攻入浴して、冷えた身体を温めたことは言うまでもありません(笑)。

園芸福祉ふくおかネット・クラフト部
「レモンガラスのしめ縄づくり」

米倉 治美



昨年末、福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」で、園芸福祉ふくおかネットの活動紹介、クラフト受講者募集と作品展示をしました。

12月14日(金)あすみんセミナールームにて、園芸福祉ふくおかネット・クラフト部で「レモンガラスのしめ縄づくり」をしました。関心を持ってくださった一般参加3名とネット会員3名が受講してくださり、部屋中にハーブのレモンガラスや丸葉ユーカリ、ローズマリーなどの



の香りが漂い「うまくできない、結構、力が要るねえ～」とあーでもない、こうでもない会話も弾みながら、試行錯誤しながら皆さん作られていました。2時間程かけてご自分で作ったしめ縄に「可愛い」「ステキ!」と皆さん満足げな笑顔でした。三つ編みのレモンガラスは収穫してから数日なので、レモンガラスが乾燥すると束ねている水引が緩むので「締め直してください」とアドバイス。この日参加ができない2名の方からも完成品の注文をいただきました。